

東京都新宿区北新宿1-8-16  
 東京土建一般労働組合  
 電話03 (5332) 3971 (代表)  
 FAX03 (5332) 3972  
 発行人・編集人  
 吉川 豊

印刷部数10万9300部  
 (購読料は組合費のなかに含まれています)  
 (年間購読料 千八百円)  
 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

### 元外務省の孫崎亨さん講演

もはや日本は、必要な情報を得ることができない国ではない、と孫崎さん。ウクライナ情勢と併せて、曲がり角にきている日本の現状について語りました。

(関連記事4面)

# 6月7日に新たに提訴

## 建材メーカーの無責任許さず

建設アスベスト訴訟最高裁判決から約1年となる5月20日、建材メーカーの謝罪と訴訟の和解、基金参加を求める大集会が開かれました。(関連記事2面)

# 建材メーカーの謝罪と訴訟の和解 基金参加求める 建設アスベスト大集会

## 面会拒否のニチアス 社員は隠れガードマンのみ



九州訴訟団を先頭に交渉を求める

日比谷野音の集会終了後、東京土建の23区支部、千葉土建、埼玉土建の仲間たちは、被告メーカー、ニチアス本社に移動し、ビルを包囲しました。

九州訴訟団を先頭に交渉を求める。宣伝カーの車上から訴えた中村隆幸(統一本部部長)、ニチアスのCSR(企業の社会的責任)を一つ一つ読



シュプレヒコールに合わせて、会場が一体となった

全国の仲間1500人(うち東京土建835人)が日比谷野音音楽堂に集いました。

冒頭主催者あいさつに立った中村隆幸(統一本部部長)は石綿建材メーカーに対し「真摯な謝罪どころか被害者の早期解決の願いから背を向け続けている」と批判、企業の基金への拠出の実現に向けて、6月7日に予定する新規訴訟を含めて、アスベスト被害を社会に訴え続けることが必要だと述べました。

### 危険知らせず 莫大な利益

続いて壇上に上がった自民党の上野賢一郎衆議院議員は建材メーカーと継続している訴訟が課題だとした上で「み

み上げ、建設アスベストの被害者に対してはその責任が果たされていないことをきびしく糾弾すると、参加した仲間から「そうなの怒りの声があがりました。また、九州から上京した訴訟団は「ニチアスからは武井社長名のわずか数行の謝罪文が弁護団に判決後送られてきただけ。許せない態度だ。今日はニチアスの役員に会って、謝罪を求める」と怒りを込めて発言しました。

抗議の発言が続くなか、九州訴訟団を中心とした交渉団がニチアスへの面会を求め、玄関に迎いました。しかし、そこにはガードマン2人が立ち、自動扉は施錠された状態で、1階受付にも人の姿もありません。交渉団は、繰り返しニチアスへの交渉を求めましたが、ガードマンは取り次ぐことを拒否。怒りのシュプレヒコールが響くなか、要請書をニチアス社へ届けるようにガードマンに渡し、今後も抗議行動を続けることを確認して、この日の行動を終了しました。

その後、原告団の決意表明の中で夫と息子を亡くした大坂春子さんは「被告企業に馬鹿にされるたびに涙が出る。ニチアスの態度、くやしくて眠れない」と建材メーカーの無反省な態度と、その悲痛な胸の内を語りました。最後、会場全体が一体となる中で、



小野寺さん

### 第2ラウンドも勝利を確信

最終局面での到達と課題について報告する。建設アスベスト訴訟は、国との関係において人権裁判史上、画期的な成果を獲得した。未提訴被害者をも救済する

給付金制度を作ったことは特に重要な。法的責任が確定したにもかかわらず、謝罪を拒否する建材メーカーの態度は、通常の社会常識では考えられない。敗訴した国に学ぶどころか徹底抗戦を続けており、暴挙といっても過言ではない。私たちは勝利しなければならぬし、勝利できると確信している。第1ラウンドは見事に勝利した。今、第2ラウンドだ。相手は建材メーカーだけではない。今度は厚生労働省でなく、経済産業省、国土交通省を動かそう。主戦場は法廷の外にある。6月7日に提訴する新・建設アスベスト訴訟を含めた全面解決にむけて、今まで実践してきた法廷内外の運動を強めてたかおう。

### 小野寺共同代表の報告要旨

メーカーを強く批判しました。

そして、この訴訟の経過と今後のたたかいかいについて報告に立った小野寺利孝

アスベスト給付金のご相談は 最高裁判決を勝ち取った 東京土建へ 国から最大 1,300万円

「建材メーカーはもろろん、上、快挙ともいえる画期的な成果を獲得した」とした上で「建材メーカーはもろろん、今度は経済産業省、国交省を動かして勝利しよう」と力強く訴えました。

### 馬鹿にされるたびに涙出る

集会終了後は2手に分かれて、ニチアスと経済産業省への要請行動を行いました。経産省前では、大勢の参加者が歩道に並ぶ中で、建材メーカーに対して指導、監督する権限を有している経産省への要請行動が行なわれませんでした。交渉団を送り出した後、原告、各建設組合が宣伝カーのマイクを通じて、経産省の内部に向けて訴えました。経産省前での集会は、はじめての取り組みとなりました。



先日、運転免許の更新に行ったら、新しい免許証発行に際して、4桁の暗証番号を2つ指定せよという。免許証にICチップがついており、その関係なのだろうが、本当に2つも必要なのだろうか。違和感を持った。デジタルサービスには暗証番号がつかまとい、セキュリティを含めたその管理に苦勞する。

スマートフォンアプリなどを販売するAppleが利用者の閲覧履歴等のデータを追跡する「ターゲット広告」を批判するテレコムをはじめとするニューズを見た。ターゲット広告とは利用者のスマートフォンなどに蓄積されるサイト閲覧履歴、検索した語句などに応じて表示される広告のことだ。

これらの広告を主要な収入源とするのがグーグルやメタ(旧フェイスブック)で、Appleの今回の動きは、ライバル会社に対抗するものだ。広告収入に頼らないAppleのiPhoneでは、アプリが利用者の履歴を追跡する場合、本人の許可を求めるしくみが昨年より導入されている。

率直に、セキュリティ強化の打ち出しに価値を感じた。アップルに乗り換えようか。避けたいほどにデジタルが浸透する毎日でも、不必要に個人情報収集されることは避けたい。が、それも所詮、GAFAの手の平の上か。